

「マニラ近郊の障害児支援施設に対する障害児用中古車椅子供与計画」

当会は2012年1月24日マニラのJVR財団のホールで、供与先団体の責任者と受益者である障害児20名と保護者、在フィリピン日本国大使館公使、保健省福祉局幹部、メディアなどに出席いただき、供与先へ80台の引き渡し式を行いました。

その後1月25日から27日までに3日間で供与先の全ての団体の施設と障害児の家庭5ヶ所を訪問して、障害児の生活と治療の実態を把握し、車椅子の維持管理についての的確に行い有効活用をするよう確認しました。



引き渡し式の会場と供与先責任者との記念撮影



引き渡し式に出席した保護者と子ども達

80台の車椅子が別室に陳列

供与先障害児支援施設の訪問



Elsie Gaches 100名以上の障害児のケアをしている。今回 20台供与
(1月25日訪問)



Philippine Cerebral Palsy Inc (フィリピン脳性マヒ児協会)
障害児は保護者とリハビリ治療に通う。車椅子はほとんど持っていない。
(1月25日訪問)



Missionary of Charity (マリアテレシア宗教団体) 60名の障害孤児がおり
車椅子は全くなかったが、今回 20台供与。
(1月26日訪問)

CBR（地域に根差したリハビリ活動）拠点と障害児の家庭訪問

（平成 24 年 1 月 26 - 27 日）



Create A Job for Disabled Asso. CBR 拠点に受益者が集まってくれた



Nofil Foundation の CBR 活動拠点を訪ね、障害児の家庭を 5 件訪問した。中央の子どもは 17 歳、これまで車椅子なしで生活していた。これまでの父母の慈愛と苦労はいくばかりか、これからはもっと面倒見やすくなったとうれし涙。

